

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2016年11月15日公開
イスラエルとロシアのサイバー戦争、トルコとヨーロッパ、反キリスト

.....
イスラエル・ハイファよりシャローム！ハイファから地中海の美しい景色を見ながら、アップデートしたかったのですが、重大なことを考えていませんでした！これから外が真っ暗になって、約30分間何も見えなくなります！自分自身も見えなくなるのです！そんなわけで、車に戻ることにしました。私の顔が見える程度に、外が明るいうちにとったのです。

現在中東で起こっている、非常に重要なことをいくつかお伝えしたいと思います。
まず最初に、中東では現在、ロシアとイランとの間が驚くべき進展を遂げています。これは以前から何度もお伝えしてきていることですが、たくさんの方からご質問いただいているので、それにお答えします。

「イランとトルコは大敵同士なのに、どうしてロシアは両方と味方になれるのか？」
ロシアは、現在枯渇している自国の経済に資金を得るためなら、イスラエルとでも、イランとでも、トルコとでも、誰とでも関わります。それが、数日前にロシアの首相がイスラエルを訪問した理由の一つで、現在、今までになかったほどに近づいた（両国の）関係から、ロシアがどのようにして利益を引き出せるかを見るためです。

首相のイスラエル訪問中に起こった出来事の一つは、彼が農業研究所を訪れた際に、イスラエルが農業で使用しているドローンを見せた時のことです。彼は、それを自分たちに譲ってもらえないかと尋ねました。すると、農水相が—お恥ずかしい話ですが—「もちろん！」と答え、2人のロシア人が来て、ドローンを要求してきたのです。これは少し厄介な話です。なぜなら、このドローンはイスラエルの特殊な技術を搭載していて、今はロシアの手には渡したくなかったのです。そういうわけで、彼はドローンを入手したのですが、その頭脳部と操作レバー、作動システム、実際にそれを操作するものは、未だ私たちのところにあるのです。彼らは要求してきますが、私たちは渡さず、初めは良い形で始まったことが、現在は外交問題にまで発展しているというのが、面白いと思います。

ロシアの巨大空母アドミラル・クズネツォフが、他の小さな戦艦を伴って、現在、シリア沿岸に到着しています。初めは上手くいっていませんでした。空母に3機あったMIG-29戦闘機のうちの1機が着地に失敗して地中海に墜落し、パイロットは無事だったものの、1機を失いました。しかし、現在何が起こっているかというと、地中海沿岸、我々から48km以内にロシア海軍が多数集まっているという現実、イスラエルは警戒しており、これは戦闘機と兵士が攻めてくるという問題だけではなく、サイバー戦争でもあるのです。ロシアはイスラエルのメッセージやシステム、技術を傍受する高度な技術を駆使しており、ここ数日、イスラエルは、現在横行しているロシアの脅威に対処するようにと、全ての船と全サイバー戦

闘員に命令しました。信じられないかもしれませんが、現在ロシアとイスラエルとの間で、静かなる戦争が始まっています。サイバー戦争です。イスラエルは、サイバー技術・戦闘・防衛システムの分野で突出した力を持っており、国内の 300 以上の異なる会社が、世界各国にサイバー戦争・防衛の技術を輸出しています。ロシアも当然、我々の技術に目をつけています。今は、我々もロシアに対して笑顔で接し、友好的な態度を示していますが、その裏でイスラエルは、この周辺でのロシアの存在に非常な危機感を募らせています。先ほども言った通り、事は既に始まっているのです。

さて、昨日、ロシアとイランが 100 億ドルの武器協定を結んでいたことが明らかになりました。先ほども言いましたが、ロシアは経済が枯渇しており、何としても現金を必要としています。イランは、イラン協議が調印されて以来、アメリカから多額の現金を得ています。そういうわけで、イランは現金を持っており、ロシアは現金を必要としています。そして彼らは武装協議の話し合いの席に着きます。理解しておくべきは、ロシアがイランに売ろうとしているのは、最先端の武器システムです。現在の国連安保理のイランに関する条約では、イランは国連安保理の許可なしには、どの国とも武器協定を結ぶことができません。それは少なくとも 2020 年まで有効です。しかし、イランがこれまでに国連安保理の言うことに従ったことがあったでしょうか？国連安保理は、イランが弾道ミサイルの実験を行うことを禁止しました。イランは昨日、これからも弾道ミサイルの開発と実験を続けていくとアナウンスしたばかりです。

国連安保理の中で争いがありますが、バラク・オバマは実にずる賢くて、彼がイランと結んだ協議では、弾道ミサイルに関することは一切含みませんでした。彼はイランが必ずそれを行い、対立を生むことを知っていたため、国連安保理とイランが結んだ協議には加わりませんでした。このように、現在イランを巡って、そこら中で非常にきな臭いことが陰で行われています。イランは世界の国々を玩んでいるのに、誰も何も言いません。来年 1 月 20 日に、ドナルド・トランプ次期大統領がホワイトハウス入りする際には—そう願っていますが、多くの人がそれを妨害しようとしていますから、—ともかく、彼が何らかの形でイラン協議を覆すか、その一部でも解約することを祈っています。めちゃくちゃですから。あの協議が結ばれた当初には隠されていたことが、現在は表沙汰になってきていて、それはもう、めちゃくちゃです。

さて、もう一つお伝えしたいことですが、イラクのモスルで物事が止まっています。つまり、選挙の前は民主党とバラク・オバマが、あたかも ISIS と戦っていて、間もなくモスルを奪還するかのように見せかけていましたが、それが止まっているのです。彼らは「他の町や都市は陥落した」と報告していますが、モスルは今、静寂の中にいます。何が起きているのかというと、ISIS がイラク軍と手を組んでいる疑いのある者を全て殺害しているだけでなく、

現在シーア派支配によるイラク軍が、シーア派民兵と共謀して、モスル地域のスンニ派住民を全員惨殺しているのです。昨日（11月14日）撮影された動画が、昨夜以来出回っているのですが、その中で、イラクの戦車が—信じられないかもしれませんが—スンニ派の10歳の男の子に体当たりして、轢き殺している様子を撮影しているのです。何がそんなことをさせるのでしょうか？ISISと戦う名目で、どうして10歳の少年を轢くなどということが出来るのでしょうか？これをどう説明するのですか？彼らが言うのは、「我々はモスルを陥落させた」「モスルを占拠した」ということばかりですが、現実は何も占拠しておらず、未だにISISが支配していて、そこで行われているのは戦争犯罪、おぞましいことです。

次に、トルコに関して。現在、大変な問題が起こっています。理解しておくべきは、3つの異なる事が起きているということです。

- ① シリアにおけるロシア
- ② イラク・モスルへの攻撃
- ③ トルコ—ヨーロッパ間の緊張感

しかし、これが何らかの形でエゼキエル 38, 39 を成就させることになります。それは、エルドアンが昨日発表した内容に、ヨーロッパは大変失望しました。ヨーロッパは今、何百万という数の移民に関する協議に調印させようとする、ものすごい圧力の中にあります。これは、憲法にも国際法にも違反する内容です。その協議とは、「ヨーロッパは、トルコのパスポートを所持する者には、ビザなしで、無料でヨーロッパに入国し、働くことを許可する」というものです。なぜなら、現在でもトルコはEUのメンバーではないため、彼らはビザが必要なのです。エルドアンは、自国の利益のために圧力をかけて、トルコ人がヨーロッパに行って、働いて稼ぎ、自国に送金するようにしたいのです。まず彼は、協議の一部として6兆ユーロを要求し、昨日は、これまでに3億しか受け取れなかったことに不満を述べるだけでなく、ビザを免除しない限り、つまりビザ不要にしなければ、2, 3百万人の難民をギリシャ、ブルガリア、ハンガリーの国境までバスで連れて行き、彼らを送り込むとまで言ったのです。そして今、ヨーロッパはこの件に関して、大変危惧しています。現在、西ヨーロッパの大都市、ウィーン、パリ、ベルリン、その他はどこも移民で溢れかえっています。シリアから、北アフリカから、アフガニスタンから、どこもイスラム教徒がどっと押し寄せているのです。ですから、ヨーロッパは今、二者択一を迫られています。それは、

- ① エルドアンがアラブのイスラム教徒を止めて、トルコのイスラム教徒をヨーロッパに流入させるか。
- ② トルコが、トルコ人イスラム教徒をヨーロッパに送れないのであれば、アラブのイスラム教徒をバスでヨーロッパに送り込むか。

実際、バス会社を経営しているトルコの億万長者が、200万人の難民を国境まで無料で移動させることに同意しています。無料で、です。それがどういうことになるかは、想像に難くないでしょう。もう一つ理解していただきたいのは、現在トルコは、これらの事とは無関係

に、ヨーロッパにトルコ人をどんどん送り込んでいます。例えば、オーストリア。1950年代には、トルコ人は150人以下でしたが、今や50万人以上にもなっています。これはトルコの話ではないのです。これはベルリンの話でもありません。ベルリンには、トルコ国内の町よりも多くのトルコ人が住んでいます。そんなわけで今、エルドアンはヨーロッパを激しく脅迫し、ヨーロッパは上記のどちらかを選ばねばならなくなっています。

これによって、ヨーロッパでも、世界の他の国で起こったのと同じことが起こると、私は思っています。人々は、政府の脆弱さや、新世界秩序（New World Order）組織と政府が手を組むことに辟易して、それに反するものに投票し、抗議するようになります。これがアメリカで起こったことなのです。メディアでは、誰もドナルド・トランプの勝利を予測できませんでしたが、アメリカの町を歩いてみるとわかります。この8年間で自国が破壊され、かつてアメリカが誇っていたものを全て手放したことに対する怒りが、人々の中に増大しています。ちなみに、同じことが5月のフィリピン大統領選挙でも起き、ロドリゴ・ドゥテルテが雪崩的勝利を得たのです。彼はフィリピン南部の町（ダバオ）のただの市長だったのです。しかし彼は、組織が崩壊していること、麻薬組織が警察と手を組んでいること、政府が大崩壊していることを知っていました。だからドゥテルテは、マニラや政府、警察を浄化しないことには国が崩壊してしまう、ということを知っていて、怒っていた人々も彼を大統領に、と投票したのです。そして、次にアメリカで同様なことが起こり、2017年にも引き続き、まず3月にオランダで、続いてイギリス、ドイツ、オーストリア、ベルギー、その他の所でも起こると思います。現在、ヨーロッパでは「リーダーシップ・クライシス」が起きています。人々は、国境を廃止して皆を受け入れ、富を共有しようという新世界秩序組織に、ヨーロッパ大陸が乗っ取られていくのを目の当たりにして、それに反対票を投じています。そして今、ヨーロッパで起きていることは、フィリピンやアメリカで起きたこととほぼ同じで、今後さらにエスカレートしていくことでしょう。

さて、以上が皆さんに伝えたかったアップデートです。どうしてこれを伝えたのかと言うと、世界はここ数週間、アメリカに集中していました。もちろんこれはものすごいことだったのですが、私たちはつねに、一歩引いて全体図を見ることを忘れてはなりません。全世界の図です。今、私たちが目にしていることは、アメリカ大統領選よりもはるかにずっと大きなことなのです。中東ではエゼキエル38章に向かって、先を争うように聖書預言が目の前で成就されようとしています。驚くべきことが、スローモーションではなく、高速で起こっています。私が思うに、すぐにヨーロッパが混乱に陥り、それがやがて反キリストを生み出すことになることでしょう。エゼキエル38~39に書いてある通りに、トルコ、イラン、ロシア、リビア、スーダンらが、イスラエルの山の上で、イスラエルの神によって屈辱を味わった後に、ヨーロッパの中から中東に平和をもたらす者が現れます。

ですから、ダマスカスから目を離さないでください。思い出してください。ダマスカスが崩壊しなければ、エゼキエル 38~39 は起こりません。ダマスカスは陥落されなければならず、崩壊し、廃墟とならなければなりません。ダマスカスが、ロシア、イラン、トルコを結び付ける動機となるのです。現在、彼らは相互に憎み合い、好ましく思っていない。ロシアは、イランとトルコの全てを繋げる接着剤となっています。しかし、トルコはヨーロッパに対する失望と離反が増大するに従って、ロシアが広げている腕の中に飛び込むようになります。イランは引き続き、サウジや他のスンニ派と戦い、シーア派イスラムを拡大させようとしていて、それによってロシアと手を組みます。このように、それぞれに異なる目的のために、悪の同盟国が形作られていくのを、私たちは目撃しています。

繰り返しますが、ロシアの空母が到着し、緊張が高まっています。モスルは行き詰まり、アレppoは問題を抱え、ロシアは簡単にいかないことに気づき始め、物事がエスカレートしています。世界はもはやアメリカには注目しておらず、またそれぞれの問題に目を向け始めました。そして中東では、物事が今まで以上に速いペースで展開しています。

さて、神の人々、皆さんはこれからも笑顔で、腕まくりして働き続けましょう。アメリカで起こったこと、ヨーロッパ、中東で起きていることは、今までに見たこともないようなことです。神は、携拳が起こる前に、神を信じる人々へある意味最後のチャンスを与えておられると、私は思います。私はそれを肌で感じていて、行く所どこでも、携拳について教えています。自分の教会でも今度の土曜日から教え始めます。6年間教えていなかったのですが、また戻って人々が理解すべき事、私たちが備えるべき事を教えます。主が私たちを迎えに来られる時まで、私たちはこの世的な事や生き方をするのではなく、御父の業に忙しく励まなければなりません。

それからもう一つ皆さんに理解していただきたいことがあります。それは最近、さらに間違った教えがどんどん広がっているのを見聞きしているからです。「携拳は起こらない」とか「地獄も天国も存在しない」とか「全てが成就された」とか、全てが既に終わっているというような考え方です。しかし、一言言わせてください。これこそがまさに、サタンが望んでいること、教会を眠らせることです。第二ペテロ 3 章にはこうあります。

9 主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせているのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

(第二ペテロ 3:9)

つまり、主は恵みの時間を与えてくださり、まだ窓は開かれています。今は自己満足す

るときではないということを憂慮していますが、現在のアメリカで、残念ながらそれが起こっています。人々は、自分の望む候補者が選ばれたことで、もはや燃えていません。皆がそれぞれ、元の生活に戻ってしまったのです。「トランプが勝った」「自分たちは頑張った」「また元の生活に戻ろう」…それは違います！神が、義人による熱心な祈りを聞かれた唯一の理由は、

16 義人の祈りは働くと大きな力があり

(ヤコブ 5:16)

祈りが聞かれたことで、教会が備え、花嫁として花婿が来られるのを待ち望むためです。この期間こそが、あなたの人生の中で主に立ち返る時です。今のこの期間が、主に従い、仕える時です。ただ従うのではなく、仕えるのです。教会に仕え、自分の生活の中で仕え、自分には何が託されているのかを知るのです。神は、私たち一人ひとりに賜物と資源と時間を与えてくださっています。そして、私たちが天に行ったときに、主は私たちに聞かれます。それらをどのように使ったのかと。その時に恥ずかしい思いをしたくはありませんね？だから、私は政治的な事やメッセージを伝え続けます。皆さん、どうか真剣に受け止めてください。

救いは無償の賜物。その通りです。しかし、私たちが理解しておくべきことは、

26 …行いのない信仰は死んでいるのです。

(ヤコブ 2:26)

行いによって救われるのではなく、信仰によって救われます。しかし、行いのない信仰は死んでいます。つまり、救いに導くのは行いではありません。信仰が救いに導くのです。一旦救われれば救いは得ています。次は実を結ぶ時です。あなたの救いを、行いを通して実を結ぶことによって、証明する時なのです。実によって見分けることができるのです。だから、救われているというだけでは十分ではありません。御父の業に励んでいるところを見られるように、ただ信じるだけでなく、行動するように。皆さんが懸命に働かれていることは知っています。そして神は、あなたに賜物、資源、それから時間を与えられました。賢く使いましょう。

周りの人、家族、友達に伝えて、福音を広げましょう。会話を創り出すのです。

「もし、携挙が起こったらどうする？」

「もし、イエスが真理であり、道であり、いのちであると信じている者が、全てを置いていなくなったら、どうする？」

ぜひやってみてください。あなたにもできることがたくさんあります。でも、絶対あつては

ならないのは、携挙が起こる時に、あなたが世に属し、世を愛し、世と姦淫を犯しているところを見られることです。私たちは、この世のものではありません。この世でキリストに仕える者なのです。

神は、罪の満ちたこの世を裁かれる前に、主に仕える者たちを御元に引き寄せられます。私たちは間もなく、家に呼ばれます。その時、この世のものは全て置いて行くのです。第一コリント 15 章にある通り、私たちクリスチャンはたちまち、一瞬のうちに変えられます。(第一コリント 15:51~52) 私たち、神に属する者は全員が変えられます。

16 …キリストにある死者が、まず初めによみがえり、

17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちはいつまでも主とともにいることになります。

(第一テサロニケ 4:16~17)

イエスが言われた通りに、

3 …また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

(ヨハネ 14:3)

それが私たち教会が天国で過ごす、唯一の時です。本当です。考えてみてください。患難の間に、神が私たちと過ごす時だけです。一旦患難が終わると、主が戻って来られ、私たちは主と共に戻ってきます。そして私たちは 1,000 年の間、統治するのです。その後、主は全てのもを新しくされます。天も地も、全てです。だから、イエスが私たちのために備えてくださった場所を堪能する時間は、患難の間だけです。覚えていますか？主が「あなたがたのために場所を備えに行く」と言われたのを (ヨハネ 14:2)。聖書には、私たちが患難の時“から” (from the tribulation) 救われると書いてあって、患難を“通して” (through the tribulation) とは書いていません。だから私はとてもワクワクしているのです。ですから、備えをして、主に立ち返り、心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして主に仕えましょう。覚えておいてください。世はあなたを失望させるだけです。そして今世界は発狂しています。神が、アメリカにされたようにご介入され、素晴らしいことをされた時、世は発狂するのです。

ある人が送ってくれた記事を読んだのですが、—アメリカの代表的なアーティストで、名前は忘れましたが、歌手でした—彼女が投稿で、Planned Parenthood に来るだけ多くのお

金を寄付するようと呼びかけているのです。なぜなら、Planned Parenthood は政府の援助を打ち切られるので（妊娠中絶された胎児を売買していたことが暴露された政府公認機関）、「自分たちのお金を投入して、赤ん坊を殺し、その手足を切り刻んで医療実験をしましょう」ということです。おぞましいことが、先端派・リベラル派・ヒューマニズムの名の下に行われているのです。「私たちは、ヒューマニズムの名の下で人を殺し、胎児を殺すのだ！」と。

世界が発狂している現代、今こそ私たちが輝く時です。クリスチャンは光となるだけではありません。なぜ私たちクリスチャンは他とは全然違うのかと全世界が疑問に思うように、クリスチャンの中に理解を超える平安があるのだと人々が分かるように、私たちの顔に素晴らしい光が照らしたされるのを見るようにする必要があります。私たちは死を恐れません。

21 私（たち）にとっては、生きることはキリスト、死ぬことも益です。
（ピリピ 1:21）

ですから、私たちは恐れません。イエスは、隣の十字架にいた一人に言いました。

43 あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。
（ルカ 23:43）

私たちはどこに行くのかを知っています。自分の最終地点がどこであるのかを知っているのです。しかし、今は、ここでやるべきことがあります。ですから、どうか真実と霊で主を礼拝し、これまでにしたことがないほどに福音を広めましょう。そして、油とともにともし火を用意しましょう。聖霊に満たされ、毎日主を礼拝し、備えましょう。私は超ワクワクしています。これからもアップデートしていきます。

どんどんニュースレターにご登録ください。ここで起こっていることを毎週お伝えします。私たちの Facebook で sign up ボタンをクリックしてください。また、You Tube チャンネルもご登録ください。今後、イスラエル国内 11 か所で収録した 11 のメッセージを毎週か隔週ごとに投稿していきます。それから、ツイッター、ウェブサイト、Facebook もご覧ください。

I love you all!

もっとたくさんのお話をシェアできることを楽しみにしています。

またここで会いするか、もしくは空中で！

God bless you!

イスラエル・ハイファより、シャローム!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO